



# ゆきちゃん通信



通信の発行が遅れている間にまた春がめぐってきてしまいました。長崎に来て2度目の春です。去年は転校という大きな変化の中で自傷行為が始まってしまった由紀子ですが、さて、その後は……。今回は5年生の由紀子の様子をまとめてお伝えしたいと思います。また2枚になっちゃいました。(笑)

## 障害って……。

転校のストレスと思春期の揺れからか自傷行為が始まってしまった由紀子ですが、前回お伝えした通り生活のパターンを整える事でひどい自傷はなくなりました。今でもパニックを起こすと頭を叩きますが、まわりの人に静止されると「ごめんなさい!」と言ってやめるようになりました。自分でもやめなくてはいけないと思っているようです。

自閉症の人にとってはストレスの塊のような環境の中で暮らして、イライラが溜まるのは理解できますが、自傷は由紀子にとっても、まわりにとっても辛すぎる行為です。できたら頭を叩く事ではなく他の方法で湧きあがるイライラを発散できるようになってほしいと思っています。

他にも思春期に入って自閉症の特徴が強く出るようになってきました。もともと音に対するこだわりを持っている由紀子ですが、給食の時間に放送されるお話のテープを聴くと箸を持ってないほど動揺するようになりました。耳を押さえて最後にはパニックをおこします。先生方と何か方法はないかと話し合いをして、とりあえず放送の日だけ別室で給食を取ることにしました。その後、主治医の先生のアドバイスでヘッドホンを試してみることにになり、それがうまく行って今では聞く事のできない放送の日に限りヘッドホンをつけて、好きな音楽を聴きながらみんなと給食を食べています。

まわりの子どもたちの反応が心配でしたが、子どもたちは由紀子の障害はそういうものなのだとよく理解をして当然の事のように受け入れてくれました。

聞くことができない音があるのは自閉症からくる障害です。以前だったら、音に慣らす事や我慢をさせる事を考えたかもしれませんが、今は由紀子の障害は我慢だけでは乗りこえられないと思っています。

由紀子が我慢をしてくれれば、まわりは楽ですが我慢だらけの生活を送る由紀子はどれほど辛い事か、…それを今頃になって気がついた母です。

これからは、どうすればこだわりを和らげる事ができるか、その事を考えてやりたいと思っています。



## 空を飛んだ日

西部地区の特殊学級交流遠足に行き、初めてロープウェイに乗りました。事前に家族で下見に行った時に怖くて乗れなかったのが心配をしたのですが、大好きな担任のK村先生と一緒になら大丈夫だったようです。

窓から外を見て「ハクに乗ったの!」と感激をした由紀子。

ハクとは「千と千尋の神隠し」に出てくる竜のことで。

気分はすっかりハクの背中に乗った千尋です。(笑)



特殊学級交流遠足

## きれいな物

平和学習で原爆資料館や平和公園へ行きました。原爆や、平和の意味を理解できない由紀子にこの日の目的を持たせるために先生が考えてくださったのが写真を撮るといことです。

お題は「きれいなもの」です。平和公園で由紀子が見つけたきれいな物はこの千羽鶴でした。この他にも花や風景の写真がたくさんありました。

そこには由紀子を感じたきれいな物がいっぱい映し出されていました。

この写真を見ながら由紀子に何を撮ったのかを聞いたら、笑顔で一言「たなばたさま!」と答えました。

そう言われれば、そう見えないこともないけど…(笑)



平和公園にて

撮影: ゆきこ

## やせました!!

ぽっこりお腹がトレードマークだった由紀子ですが、秋から冬にかけてダイエット大作戦を執行して5キロの減量に成功しました。去年の春の血液検査で『脂肪肝の疑いあり!』と、恐ろしい結果が出ていましたが、先日行った検査では『異常なし』でした。

由紀子も2月で11歳になりました。身長も一年間で7センチも伸びてすごくお姉さんになりました。

どうやってやせたのか?それは秋に家に戻って来ていたねーねーの功績です。

母は相変わらず♪ダイエットは明日から〜!♪です。ポリポリ(・・\*)ゞ



あれ〜!



## セッション

2月に由紀子がお世話になっている先生方3人が集まってくださって音楽のセッションをしました。会話が苦手な由紀子ですが音楽であればコミュニケーションの輪を広げて行く事ができるはずだと、みなさん思ってくださいました。その3人の先生に囲まれて、一緒に音楽を楽しめた幸せな時間でした。音楽を一人で楽しむだけでなく、たくさんの人と楽しむ事ができるようになってくれる事を願っています。



### その3人の先生方の紹介です



## S木先生

交流学級の担任の先生です。由紀子をクラスの一員としてしっかり受け入れてくださいました。いつも少し離れた所からクラスの子もたちと由紀子の関係を見守っていて関係が崩れそうになると素早く対処してくださりました。由紀子に障害があってもそれを特別な存在とせず、自然体で関わってくれる3組の空気は先生の姿勢そのものでした。由紀子がパニックを起こすたびに5組まで来て、私にその原因を確認してくださいました。由紀子を理解しようとしてくださる気持ちが伝わってきて本当に嬉しかった母です。1年間ありがとうございました。



## H崎先生

由紀子に音楽のレッスンをしてくださる先生です。月に一度JRに乗って先生の所までレッスンに通っています。音楽は好きなくせにこだわりも強い由紀子は先生とレッスンを始めた頃、泣き叫んでピアノの蓋も開けさせないほどの抵抗をしました。何もレッスンできないままで終わってしまうことが数回続きましたが、先生は由紀子の中の可能性を信じて根気強く接してくださいました。そして今では由紀子も心を開いて一緒に音楽を楽しめるようになりました。あのひどいパニックを潜り抜けてできた関係です。きっとこの先長く由紀子の音楽の世界に関わってくださると思います。

## K村先生

由紀子が大好きな担任の先生です。この1年間不安定だった由紀子をしっかりと支えていただきました。由紀子の障害を丸ごと受け止めてくださっていつも由紀子が落ち着けるように配慮をしてくださりました。先生と一緒に頑張れる事がたくさんありました。由紀子の成長の芽を見逃さず、いろんな事に挑戦させてくださる先生でパソコンが好きだとわかると将来に役立つようにと、文章入力を指導してくださいました。

今では一人でワードを使って長文の入力ができるようになりました。

先生との関係は由紀子の描く絵の中にもしっかりと表れています。以前は絵の中に由紀子だけしか描かれる事はなかったのに、夏ごろからはいつもK村先生と一緒に描かれるようになりました。私ですら頼まなければ描いてもらえないのに…。これは母のひがみです。(笑)

**さようなら先生！**・・・こんなに好きな先生なのにお別れをしなくてはならなくなりました。

3月是由紀子にとって本当に淋しい時です。この数年ずっと大好きな人とお別れをしてきました。だから、今回も由紀子は早い段階から先生との別れを感じ取っていたようです。必死に先生との別れから目をそらそうとしている姿がかわいそうです。いっそ泣いてくれれば早く立ち直るのに・・・と思う母です。

先生！本当にお世話になりました。ありがとうございました。



編集後記  
転校をして一年が過ぎようとしていきます。思春期の由紀子の変化に振り回された一年でした。そして、もう一度由紀子の障害について見直しをする事ができた一年でした。▼自傷が始まり、こだわりが強くなっていく由紀子を見て、自閉症がどれほど暮らしにくい障害かというのを再認識させられました。▼そんな時に主治医の先生や、K村先生が私の話を聞いて支えてくださいました。だから、ここまで頑張ってきた。そんな気がしています。▼この時期に長崎に来る事ができて本当によかったと思っ  
ています。▼ただ、由紀子と私を支えてくださっていたK村先生が転勤されることになりました。▼受け持っていたので覚悟はしていましたが、本当に幸せな一年だったのです。「あと一年：こ、と思わずにはいられませんでした。▼別れと出会いを繰り返して由紀子の理解者が増えていくのだ！と、今年も自分に言い聞かせている母です。  
富美子